

「With コロナ時代における未来アイデア」応募用紙

○応募者

氏名・法人名・団体名	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 デザインプロジェクト アートびっくり戦隊
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）に規定する暴力団をいう。）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸（○）を記入してください。

未来デザイン部門

未来テクノロジー部門

アイデア名	全国各地のアートチームがリーグ戦で競い合うAリーグ
-------	---------------------------

提案の概要（200字以内）
<p>これまでだったらアートを競技として競う発想がなかった。COVID-19により移動抑制が推奨される中で、ライブ配信を生かした<b>アートリーグ戦が身近にきてくれる</b>。</p> <p>地域でクラブチームに所属するアーティストたちが繰り広げる「アートバトル」を通じて、人々に感動を与えてくれるアーティストリーグの創設により、アートがより身近になり、アーティストにもお金が回るようになる。継続的にアーティストを支援し、地域への愛着を高め、人々に感動を与えてくれ、新たなコミュニケーションツールや地域の活性化に繋げる価値を提供する。</p>

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
<p>(現状)</p> <p>アーティスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に絵を見て欲しい</li> <li>・新たな収益モデルの構築が求められている</li> </ul> <p>地方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域では人口の減少・過疎化が著しいため、関係人口を増加させ、活性していけるかどうかは今後の自治体生き残りの鍵となる。</li> <li>・地域には多くの遊休資産があるが、うまく活用できていないことがほとんど</li> </ul> <p>(課題)</p> <p>アーティスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出も制限され、あらゆるイベントも中止や延期を余儀なくされた</li> <li>・アート作品を作るだけで生活ができるアーティストは一握りの人であり、多くのアーティストは収入が不安定である。</li> <li>・アーティストが、継続的に作品を作り続けることができ、アルバイトなどをしなくてもアーティスト活動だけで生活できるソリューションが少ない。</li> <li>・既存の課金型ライブ配信プラットフォームに頼るなど、エンタメファンにとって新しい体験、感</li> </ul>

動できる体験、価値ある体験に至っていない

地域

- ・観光客・住民の移動困難
- ・移住・交流の停滞
- ・観光客の動態把握の困難
- ・地方経済・社会の持続可能性の低下

(背景)

- ・COVID-19の流行による突然訪れた終わりが見えない環境の変化の中での不安。
- ・これまでチームで競うことがなかった分野のものでも、リーグ戦にすることにより、エンタメファンにとって新しいコミュニケーションツールを提供し、地域への愛着を高め、アーティストを支援するとともに、地域の魅力を伝えることで交流を増やしたい。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たつての課題 ※様式自由

(効果)

- ・新しいコミュニケーションツールの創出
- ・オンライン化による効率化で観光客の動態把握できる
- ・COVID-19の被害が大きい地域への支援
- ・アーティストが、継続的に作品を作り続けることができる

(課題)

当該提案はビジネスモデルの提案であり、社会実装するためには趣旨に賛同してくれる企業、実証フィールドが必要

県には、事業化に向けた企業等とのマッチング及び事業化に必要な実証実験を行う場合の県内フィールドの提供・調整の支援を期待。

提案の詳細 ※様式自由

別添のとおり

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡幅して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル（ワード又はPDF形式）で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。